

・土用波とは。

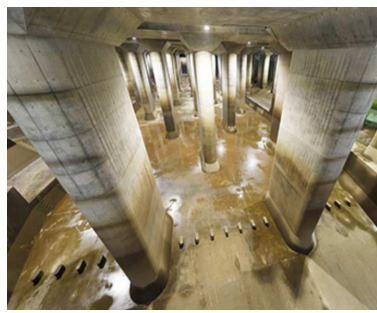
夏の土用（立秋前の18日間）ごろから、日本の太平洋岸で、風がないかごく弱いのには海岸に打ち寄せる高波。遠方の海上にある台風から発したうねりは台風自身より進行速度が速いため海岸に早く到達する。これが**土用波**です。
 今年2023年（令和5年）に土用波がやってくるのは、7月20日（木）～8月6日（日）あたりまでです。
 小さい頃夏休みが始まって海水浴に連れてってと親に頼むとよく土用波を理由に連れて行ってもらえなかったような記憶があります。
 土用波は漁師さんにとっても、子供たちにとっては有り難くない波のようです。

首都圏外郭放水路

6月1日から各地を襲った台風による大雨の影響で、我々の生活や交通インフラが大きな被害を受けました。
 東京城東エリアでは、深夜から明け方にかけてスマホに頻繁に警報が鳴って不安を覚えた方も多かった事でしょう。
 地震や水害など生活を脅かす災害には日ごろからの備えがとても重要と言っても、江戸川区のハザードマップの表紙には「ここにはダメです」って書かれちゃってます。
 これって水が溢れたら、溢れそうになったらとにかく遠くに早く逃げろっていう事ですよ。
 あらためて2019年5月発行の江戸川区ハザードマップを見てみると、「ここにはダメです」という表紙の直球すぎるワードに始まり、なかなかのパワーワードに目が止まります。
 江東5区は水が出たらほとんどの地域が浸水するんですって。
 でも冷静に考えたら上流は利根川が北関東の雨水を集め、下流で荒川、綾瀬川、中川、江戸川が流れ込む地域なら、そりゃそうだ地形を見たら明らかですよ。
 で、今回の台風2号で人知れず災害を防いでいた立役者がおりました。
 首都圏外郭放水路様です。（あえて様付で呼ばせてください！！）
 今回も大活躍だった模様です。

都圏外郭放水路は、地底50mを流れる世界最大級の地下放水路。各河川から洪水を取り入れる「流入施設」と「立坑」、洪水を流す地下河川の「トンネル」、そして地下空間で水の勢いを弱め、スムーズな流れを確保する「調圧水槽」、さらに地下から洪水を排水する「排水機場」などで構成されている。（出典：関東地方整備局ホームページより）

調圧水槽には巨大な柱があり、まさに地下神殿さながら、これを見学できるんですよ。
 ありがとう首都圏外郭放水路様、今度見学に行きます！



第29回 今月もウォーキングにお付き合いください

三成 哲也のウォーキング日誌



6月18日 6:00JR返子駅～名越切通し～8:30鎌倉駅

久しぶりに返子だ。返子は昔から友達も多く、海を中心に返子葉山界隈はよく遊んだものだ。
 ただ海岸沿いはウォーキングコースによく取り入れるが山沿いを歩くのは何年ぶりだろうか。返子駅からなぎさ通りへ、入り口にスーパーズキヤ。スーパーマーケットの中では高級といわれているが買ったことがないのでわからない。そのスーパーの斜め前に小さな鰻屋があったが今はない。鰻屋の俵を知っているが、鰻屋を継がなかったのか、美味しい鰻屋だっただけに残念だ。しばらく歩いて右手に焼き鳥屋。この焼き鳥屋は何度か行ったことがある。焼き鳥だけでなく煮込みも美味しかった。なぎさ通りの出口、池田通りの信号の角にあった材木屋はOKストアに変わっていた。

その信号のそばにあった鎌倉ニュージャーマンも撤退している。

池田通りの信号を突っ切って鎌倉方面に向かう。信号からほど近いところにあった寿司屋はまだ健在だ。若女将と何度か話したことがあるが、その当時はまだ回転寿司はなく京樽というお店がチェーン店展開をしていて、ファミリー層が京樽にとられて大変だなんて話をしていたことを思い出す。若女将も今はもうおばあちゃんになっているかも。もう30年前の話だ。

寿司屋を通り越して鎌倉方面に足をを進める。「小坪入口」の信号を左折して名越切通しを目指す途中、「披露山公園入口」の信号、披露山公園は高台にあって確か猿がいたような気がする。その披露山公園入口の信号も突っ切り、右角にファミリーマートがある信号を右折して名越切通しに向かう。閑静な亀が岡団地の上り坂を上って行く、通り沿いに分譲住宅が4棟建設中だ。看板を見ると誰もが知っている社名だ。亀が岡団地の坂道を上り切ったところに名越切通しの入り口がある。うっそうとしげった木々の間をまた崩れそうな岩間を通り抜けていく。途中にある「まんだら堂やぐら群」は閉鎖中だ。次回の開放は10月21日と記載されている。10月21日以降にもう一度来よう。

まんだら堂を過ぎてしばらくすると下り坂になる。急な下り坂を下っていると「かたつむり」に遭遇した。かたつむりを見るなんて何十年ぶりだろうか。子供の頃以來だ。物珍しさにしばらく、かたつむりの動向を観察していた。鎌倉大町口の出口に近づくと至る所で「あじさい」が咲き誇っていた。なぜかあじさいの花を見ると雨の日を思い出す。あじさいくらい雨が良く似合う花はないだろう。こう思うのは私だけか。

返子駅を出発して1時間15分鎌倉大町口に到着。この後、まっすぐ鎌倉駅には向かわず、材木屋を通過して由比ヶ浜海岸に下りた。サーフィンやらSUPを楽しんでいる人が多く見かけられた。みんな楽しそうだ。傍らでは海の家準備も着々と進められていた。

もう一月もすれば子供たちは夏休みか。